



社会福祉法人 札幌親会 札幌市社会自立センター

10月号

ドリム新聞

発行:2018年10月1日

発行所
社会福祉法人 札幌親会
札幌市社会自立センター

TEL 011-786-7881 FAX 011-786-7884 HP アドレス <http://www.satsuoyukai.or.jp>



岩手の狹鼻溪舟下り

今年もいろいろありましたね。

記事の内容

- 新幹線で行く東北の旅
- 登別 1泊2日の旅
- 余市満喫日帰りの旅
- 職員研修報告
- 職員紹介
- 編集後記

旅行特集号



平成と呼ぶのも最後となった今年は、忘れられない出来事がたくさんありました。まだ新年を迎えてはいませんが、この先1年1年が穏やかで平和に過ごせるのだろうかと不安になります。

特に北海道胆振東部地震は北海道全域に予想もなかった停電を誘発し、パニック状態となりました。未だに余震も続いており、災害で亡くなられた沢山の方には心よりご冥福をお祈り申し上げます。私は小学生だった頃に十勝沖地震を経験しました。グラグラとなった瞬間に、教室の窓越しに見えた電信柱が海の水平線を境に大きく上下運動したのを覚えています。先生の一声で皆机の下に潜り込みました。太平洋側の地震で日本海側も揺れたことの驚きと恐怖は今でも忘れません。

しかし、今回の地震は、日頃どっぷり近代文明に染まっている自分自身にとっても、電気一つなくなることでもこんなにもライフラインが停止するのかと驚きました。これが冬だったらどうなっていたのかと思うとぞっとします。でも、原始人だったらさほど驚かないのだろうか？

どうかこれ以上大きな地震がきませんように。 所長 佐藤 典彦

札幌駅全員集合！スーパー北斗に乗り、新函館北斗駅へ。ワクワク気分で新幹線はやぶさに乗車。静かな車内で、お弁当を広げ、あっという間に盛岡駅に到着です。盛岡では手作り村で駒の絵付けを体験しました。みんな自分の好きな色を塗っていましたが、自分の手にも塗っている人もチラホラ。

2日目は猯鼻溪の舟下りです。透明な川面には魚が沢山泳いでいました。切り立つ岩肌と壮大な自然の景色を楽しみながら、船頭さんの素敵な歌声に時間がゆっくり流れとても心地よかったです。そして、仙台七夕祭り見学。吹き流しの大きさと華麗さは見応えがありとても綺麗でした。

宿泊は松島温泉。窓から松島湾の景色が一望できゆっくりと温泉三昧です。

最終日は、台風の影響で予定を変更して今話題のうみの杜水族館へいきました。アシカのコミカルなショーやイルカの大ジャンプを見て楽しみました。この旅を振り返ると東北の震災後の復興を肌で感じ取り、元気をもらいました。明日からまた頑張りましょう。

8月7日～9日

清藤直子



東北旅行



共食いではありません。
牛タンです。(タンのさん)



南部せんべい焼き



盛岡三天麺セット



猯鼻溪舟下り



このTシャツ
買いましたよ。





新幹線で行く東北の旅

< 2泊3日 >

台風とかけっこの旅 <無事でよかった編>



仙台の七夕祭りはすごかった!



仙台うみの杜水族館



一日目は新幹線に乗車、揺れの少なさと静かさに皆さん驚いていました。盛岡手作り村では駒絵付けと煎餅の手焼きに挑戦、その出来映えに満面の笑み。二日目は猊鼻溪で舟下りを体感。晴天のもと自然の絶景を見ながら、楽しい時間を過ごしました。その後の仙台では雨にみまわれましたが、煌びやかに作られた七夕飾りを写真に収めることが出来ました。三日目は台風の影響で予定が変更になりましたが、うみの杜水族館ではアシカやイルカショーに歓声が上がっていました。心配した飛行機も 20 分遅れで出発。無事、札幌に到着した時には皆さん充実した表情でした。

皆さんの柔軟さと感性の豊かさに触れ、私も学ぶ事の多い旅でした。 新琴似図書館 佐藤 和子

登別温泉一泊旅行



地獄祭りに温泉三昧!!



去る 8 月 25 日～26 日。一泊二日の登別旅行に行ってきました。

前日からの台風の影響もあり、雨風が心配されましたが、利用者さんのパワーのお陰か?天候に恵まれ、楽しい旅行となりました。1 日目の昼食は、美味しい白老牛のハンバーガーです。さすが白老産の牛肉は最高でした。ボリュームもあり皆さん大満足の様子でした。宿は登別第一滝本館です。旅行の目的である地獄祭りには、各班ごとに見物に行ったり、ホテル内でのショッピング、数種類の温泉めぐりと「ザ・登別温泉」を堪能しました。

夕食は宴会場にて、沢山のお膳料理に会話と箸がすすんでいました。2 日目は昭和山熊牧場へ行きました。餌を買って、お気に入り熊を見つけては「届かなかったー」「横取りされたー」と大いにはしゃいでいました。

それぞれの思い出を土産にあつという間の楽しい旅でした。

米田 元恵





日帰り旅行

余市までいってきました。




9月2日(日)、利用者さん7名と職員2名で余市へ日帰り旅行に行ってきました。

山本観光果樹園さんでは、予約時に天候不順による不作が心配されておりましたが、当日には意外とたくさんの果物が実っていて、もも・ブルーベリー・ブルー・プラム・りんごの5種類が楽しめました。皆さんナイフで上手に皮をむき、食べやすい大きさに切って召し上がっていらしたのが印象的です。

余市ワイナリーのランチでは、ハンバーグやステーキを皆さん美味しそうに頬張っておられました。併設するカフェのナイヤガラソフトクリームは、初めにミルクの味がガツンと来て、後からふんわりと香るナイヤガラの風味が絶品でありました。この度の旅行では、普段あまり話せていない利用者さんとも沢山お話が出来ました。色々な所へ旅行したり、パソコンを自在に駆使して音楽やSNSを楽しんでいるといったお話も聞けて、皆さんそれぞれに人生をエンジョイしているのだなあと思い、普段テレビばかり見ている私にはとても良い刺激になりました。

林 久美子



皆さんは、ファシリテーションという言葉をご存知でしょうか。ファシリテーションとは、「促進する」「容易にする」という意味で、ファシリテーターは個人、対人間、チーム、組織となるものが直面している様々な障壁を取り除き、目標達成を進めていけるよう援助する考え方、関わり方をする役割をする人の事です。

今回の研修では、基本的に人と人とが関わる際の本質として、個を尊重し、良い・悪いの評価をせず、共にあるべき姿を学ぶというものでした。

「場をつくる。」「つなぐ。」「引き出す。」「促進する。」という役割を講演、演習、グループワークを通じて、体験的に学ばせていただきました。今の仕事においても通じるもので「教え、指導する。」から「育み、支援する。」への転換を求められているのでしょうか。



相談支援従事者やサービス管理責任者の養成研修等でファシリテーターが導入され、今後はそうした役割で参加する事もあると思います。余談ですが今回の研修で、かつて指導した実習生と再会し、声を掛けられました。十数年も前の事で私の方は記憶が定かではないのですが、当時は色々勉強させてもらったと、その方は鮮明に記憶している様子でした。そこで、はっと思ったのですが、こうして巡り巡っていつか誰かの役に立てる、広く考えるとこれらも地域貢献の一端ではと思い、是非機会があればファシリテーターとしても様々な研修の役に立てればと思いました。今回は貴重な時間を頂き、研修に参加させていただけた事に感謝します。

第63回北海道手をつなぐ育成会全道大会

研修報告

～森岡大輔～

今回私は、7月28日・29日に苫小牧市で開かれた第63回北海道手をつなぐ育成会全道大会へと行ってまいりました。1日目は、第二分科会(就労・日中活動)に出席しました。住み慣れた街で、働き生活していく事を支えていく事など幅の広い話を聞く事が出来ました。

2日目は、苫小牧市民会館にて中央情勢報告や記念講演がありました。中央情勢報告では、普段あまり聞くことのできない他事業の制度や新しい仕組みなど、とても勉強になりました。

記念講演は、田中康雄氏が発達障害をテーマにお話しされました。本人はもとより皆が暮らしやすい地域社会へのライフステージに合わせたヒントなど参考になる事が多くありました。

2日間を通してとても勉強になり、地域や家族など多くの人たちに支えられ作業を行う事が出来ていると実感致しました。今回学んだ事をこれからの作業や支援に繋げていきたいと思えます。貴重なお時間を頂き感謝いたします。

職員紹介

9月から、札幌市社会自立センターで勤務している高野達也です。好きな食べ物は焼肉です。好きなことは体を動かすことです。学生時代はバスケットボールをしていました。前職では、就労B型、生活介護の利用者の方を支援しながら、楽しく協力して取り組んでいました。社会自立センターでも、みなさんのサポートと協力し合いながら出来るように努力したいと思えます。宜しくお願いします。



編集後記

暑かった夏も終わり、すっかり秋が深まってきました。今年もあと少しですが、自立センターの仲間と一緒にクリーニングの仕事を頑張ります。

(編集協力委員 泉 北斗)

我々も頑張ります。(自立センター職員 一同)

< 監修 ~ 佐藤所長 >